

性能要件		環境負荷対策の要件	
バッチ処理性能	<ul style="list-style-type: none"> ・業務系は23時から翌5時迄の6時間以内に完了すること。 ・オンライン開局時間を遅延させないこと。 ・夜間のバッチ処理に際しては、障害発生時のリカバリ対応を考慮すること。 	エネルギー消費状況の把握と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム機器のエネルギー消費効率測定および評価ができるようにすること。
オンライン処理性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーアクセスに対し、30秒以内で画面表示が行えること。 	消費エネルギー低減策	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム機器の消費エネルギーの低減策を示すこと。 ・業務運用で使用するパソコン、プリンター等のIT機器の消費エネルギー低減策を示すこと。
処理性能の保持期間	<ul style="list-style-type: none"> ・運用開始後10年程度は、処理性能を保持すること。 	自然エネルギー利用	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーを利用した環境負荷低減策を示すこと。
性能劣化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・性能劣化が予測される場合には、リソース増強などの対策を行うこと。 ・対策の実施は、迅速に実施され、かつ、業務へ影響を最小限にすること。 		
サーバの集約	<ul style="list-style-type: none"> ・リソース使用状況を鑑み、本財団に対してサーバの集約の提案を行うこと。 		
信頼性・可用性の要件(信頼性:個々のパーツの壊れにくさ、可用性:継続的にシステム稼働できる能力)		セキュリティ要件	
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車リサイクルシステムの基本方針に基づく信頼性・可用性を満たすこと。 	管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ責任者を設置し、情報システムのセキュリティを統括すること。
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェア障害によるサービス停止が起こらないシステム構成とすること。 ・システムは単一障害点を排除した構成であること。 	情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・外部記録媒体または機密情報が記載された情報を廃棄する場合は、情報の復元が困難な状態にすること。
データ増加対策の要件		アクセス制御	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムにはアクセス制御の機能を設けること。 ・情報システムで管理される情報については、本財団が示す条件に基づきアクセス制御の設定をすること。
システム設計	<ul style="list-style-type: none"> ・本財団が提示するデータ増加傾向等から、トランザクション数の推移、データ増加率を予測し、サーバ、ストレージ等のシステムリソースを最適に備えること。 	認跡管理	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムには証跡を取得する機能を設けること。 ・取得した証跡情報については、不正に消去・改ざん・閲覧が行われないようにアクセス制御を行うこと。
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・データ容量に見合ったシステム拡張プランおよびその拡張プランに応じた費用を提案すること。 	サービス提供が不能となる攻撃への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供が不能となる攻撃を外部から受けた場合は、その影響が最小となるようなシステム構成とすること。
拡張性に係る対策	<ul style="list-style-type: none"> ・データ増加等を想定し、拡張性あるシステム構成にすること。 ・情報システムの拡張は、迅速に実施され、かつ、業務へ影響を最小限にすること。 	情報システムのセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムで管理する情報の保存・消去にあたっては、その措置方法を示すこと。 ・情報システムの再利用や廃棄にあたっては、その措置方法を示すこと。 ・情報セキュリティ対策の実施状況については、適時検証を行うこと。 ・情報セキュリティ対策の見直しが必要である場合は、その対応策を示すこと。
バックアップ・リストア要件		施設と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・本財団が示す区域への立入りにあたっては、セキュリティ措置を行うこと。 ・本財団が特に指定する情報システムは、その管理区域を物理的に隔離すること。
リカバリポイント	<ul style="list-style-type: none"> リカバリポイントは次の2点とする。 ・オンライン閉局後(22:00) ・オンライン開局前(6:00) 		
夜間バッチ障害	<ul style="list-style-type: none"> ・バックアップデータを使用した障害復旧を行う場合は、直近のリカバリポイントにおけるバックアップデータに基づき障害を復旧すること。 		
オンライン障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスク障害によるサービス停止が起こらないシステム構成とすること。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・バックアップデータを使用した障害復旧を行う場合は、直近のリカバリポイントのバックアップデータに基づき障害復旧すること。 		